校友時報

平成6年10月4日
編集人兼発行人
秋田県能代市高塙2番1号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所　㈱大勝堂印刷

きょう生徒会役員選挙

―いずれも信任投票―

今年も生徒会役員選挙の時期がやってきた。さる九月十二日に、立候補者の申し込みが締め切られたが、次の人たちが立候補している。

生徒会長　二B　時田　修
副会長　二C　近藤正臣
〃　一G　藤田匡佑

今日は四校時のLHR時間に体育館で立候補者の抱負発表会が行われたのち、全校一斉に投票を行う。開票の結果は明日五日には、一階の掲示板に掲示される。

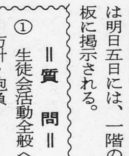
‖質　問‖

① 生徒会活動全般への方針・抱負
② 創立七十周年に向けて考えていること
③ 自己PR
④ 友人からの応援PR

創立70周年、支える体制に

抱負発表

生徒会会長・副会長の立候補者に抱負と意気込みを聞いてみた。



生徒会会長候補
時田修
2B
二中出身

向上させたい「能高の力」

① 今年の生徒活動はめざましい成果を上げたと思うので、この体制を維持しつつ、更に積極的に、何事にも貪欲に取り組んで「能高の力」を向上させる先頭に立ちたい。
② 創立七十周年にふさわしいように、文化面スポーツ面で全国にアピールするよう、又能高生としての誇りを強めていくようがんばりたい。
③ 一緒にいて楽しい人だとたまに言われ、自分でも明るいと思う。
④ 時田君は生徒会活動の実績はないが、がんばれる男なのでぜひ応援してもらいたい。

（二B　佐藤大悟）

生徒会副会長候補
近藤正臣
2C
山本中出身

不器用だが真面目にやる

① 今年は能高祭を始め、数多くの学校行事に大成功を収めたと思う。そのためには、みなさんの協力が必要となるので、生徒会にどんどん意見を出してもらいたい。
② 高三を七十周年で迎えられることを嬉しく思う反面、プレッシャーもいっぱいだ。
③ 不器用なので、何事にも真面目にやることしか取り柄はない。
④ 親切な気持ちを大切に。

（三B　石井敏幸）

生徒会副会長候補
藤田匡佑
1G
二中出身

70周年記念の大イベントを

① これといった方針はないが、とにかく自分の長所や経験を生かして、会長のバックアップをしっかりやっていきたい。
② 校訓を今一度考える良い機会だと思う。また記念行事は、本当に記念となって残るような大イベントを実施したいと思う。
③ ……。
④ 初心とときどき忘れるべからず。何事にも全力でがんばれ。

（一G　清水慎一）

応援団の信任も

今日の生徒会役員選挙では三役の他に応援団の団長と副団長の信任投票も行われる。

立候補者は左のとおり。

団長　浅野　光彦　二B
副団長　中山　将博　二B

新応援団は二人をリーダーにすでに、活動を始めている。

能高精神の育成を

前期生徒会長　葛西　恵介

葛西恵介会長

今年度の生徒会は、いろいろ新しいことに取り組んだ。それは、特に文化部の活発化に関わることであったが、能高精神の育成のためには必要なことではなかったかと思う。能高祭では演劇・吹奏楽の発表をはじめ、一味違った雰囲気を作ったと思う。これはぜひとも来年も継続し、発展させてほしいことでもある。

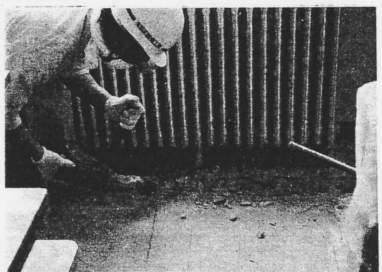
今年は創立69年目であった。そのため、70周年記念の土台となる年にすることを僕達は目標としてきた。僕達は、積極的な活動ができたし、目標も達成できたと思っている。来年は創立70周年。いろいろな記念行事が行なわれることだろうし、生徒会が中心となる行事もあると思う。さすが能代高校と言われるような記念行事を全校生徒で考え、全校生徒の手で行ってほしいと思う。

生徒会長として過ごしたこの一年間、僕は本当に良い経験をした。企画、実行の難しさ。何かを成し遂げた後の満足感。生徒会長の喜びとはこの満足感の一言に尽きると思った。新生徒会長、副会長の三人には、このことを覚えておいてほしい。また、全校生の自覚と協力を求めたい。

暖房施設

20年ぶりに改修

厳冬もこれで安心



天井に穴をあけコンクリートの床を崩して新しい管を入れる大工事である。

懸案のボイラーの改修工事が七月二十六日から始まった。本校校舎が樽子山旧校舎より現在地の高塙へ移転したのが昭和四十九年。以来二十年経過し、校舎及び各設備等に老朽化が見られるようになっていた。

暖房設備については、当初より伝熱効率が悪く、特に普通教室棟の一G・一F・二G等の野球場側では、この数年風邪による欠席者が目立ち始めた。さらに、ボイラー配管全体に腐食がみられ、一部では蒸気漏れが発生し、危険な状態であった。

そこで、今冬の学校生活に影響を及ぼさないよう、秋田県教育委員会から「県立学校大規模修繕」として県議会に提案されたものが予算化され、今回の着工となった。工事契約額は約六千二百万円、請負業者は大東施設工業株式会社、施工期間は十一月二十六日までの予定となっている。

工事の概要は、既設の配管の大部分を撤去し、新しく配管替えする工事である。現在の配管は一階床下に主管があるが、その中に地下水が浸透してくるため、現在と同じようには配管できない。そのため、ピット内の高い位置に一本だけ配管をのばし、その他は天井内及び天井下露出配管とする。また、熱源となるボイラーも老朽化がみられるため一基を解体し、新たに二基導入する。なお、排水管の各所で詰まりがみられるため、排水管の洗浄も実施する。

21度～24度保つ

ちなみに、教室内の温度には基準が定められているが、今回の改修により通常は二十一度～二十二度、少し高めにして二十三度～二十四度となるようにしている。しかし、実際には生徒の数が五十人くらいであればこれよりさらに温度は高くなるということになる。

全県大会で銀賞に

吹奏楽　Bクラスに出場

第三十六回県吹奏楽コンクール県北地区大会は、八月六日、能代市文化会館で行われた。能代高校は高校Bクラスで金賞、全県大会への出場権を獲得した。

全県大会は八月二十二日、秋田市文化会館で行われた。本校は昨年の銅賞を上まわる銀賞を受賞した。

本校吹奏楽部は昨年までAクラス（五十人編成）に出場してきたが、部員が減り、今年はBクラス（三十五人編成）の出場となった。

顧問の伊勢先生は、「昨年より少人数編成としたため、どんな評価を受けるか不安もあったが、部員のほんとうに熱心な練習のおかげで、昨年以上の成績が得られてうれしく思っている。三年生も受験勉強と両立させて、よく頑張った。」と話しておられる。

なおBクラスでは二ツ井高校が県代表として東北大会へ出場、銀賞となっている。

調理室も新しく

男女共修に備えて

夏休み中、調理室の工事も行われた。これは、今年の一年生から始まった家庭科の男女共修に備えるためである。調理室は、今まであった準備室とのしきりを取り払い広くなった。また、調理台の数を二台増やし、男女一緒に使用できるようになった。

北林君亡くなる

長らく病気のため休学中であった三Fの北林敏仁君が、九月十二日、入院中の秋大医学部附属病院で亡くなった。

北林君は平成三年、山本中学校を卒業して本校へ入学。二年に進んでからは理型の一員として学んでいたが、修学旅行から帰ったころ体調を崩し、以後治療に専念していた。

同期生は今年の三月に卒業したので、在校生で北林君を知る生徒は少ないが、担任であった佐々木雅弘先生は、「明るくて人柄が良く学級のみんなに好かれた。教員志望だった。家族の方々の悲嘆は見るにしのびなかった」と語った。学業半ばにして倒れた同君を心からいたみ、冥福を祈らずにはいられない。

待たれる食堂再開

業者との交渉続く

食堂が開かれなくなってから、はやくも一カ月が過ぎようとしている。その間、以前食堂を利用していた人々は弁当を持ってきたり購買からパンやおにぎりを買って食べたりと、それぞれに対処しているようだ。そのため、休み時間ともなると、購買前には大勢の生徒が集まり、通り抜けるのもやっとという状態となっている。

今までお世話をしてくれていた大昌園が撤退した理由は二つある。

一、五十分授業になったことに伴い、三～四校時の休み時間が短くなったため、生徒の利用が昼休み一回だけとなった。

二、従って、利用者数が減少したことから、業者側の採算がとれなくなった。

現在幾つかの業者と交渉中だというが、「今学期中には必ず、できるだけ早期に再開させる」と係の鎌田先生は語っている。

以前にもまして混雑している購買窓口

海点

理解と確信を持って

医療系志望者へ

大した病気でもないのに病院で大量の薬を与えられ、飲み残しがどっさりある。――こんな話は珍しくない。

厚生省の発表だと平成4年度の国民医療費は二十三兆四千億円とか。病気やけがの治療のために、国民が年間、病院などの医療機関に支払った費用がその額である。

不景気のせいもあり国民所得は低迷している。それでも医療費だけは高度成長を維持している。これも健康のためと思えば、納得せざるを得ないのか。

医療費が伸びたのは人口の増加と高齢化社会、それと看護婦さん等の給与引き上げに重点をおいた、診療報酬改定もその理由だ。年をとれば、自然と病気がちになるのはやむを得ないし、厳しい職場で働く看護婦さんの待遇を改善していくのは当然のことだ。

しかしどうやら、検査づけ薬づけなどといった医療活動？による大きな無駄使いもそれに含まれているという話だ。

本校生で、医療関係に進みたいという生徒は少なくない。「医は算術」などという言葉も聞くが、まさか本校生の医療関係志望者がそういう打算によるとは思いたくない。

薬の問題以外に多くの克服すべき課題（臓器移植にしろ、告知にしろ、インフォームドコンセントにしろ）が山積している医学の世界を志願する生徒には、そういう事柄に対する理解や、自分としての確信を持つことが求められているのではないだろうか。T